

器51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 排液バック 70308000

** F S 排液バック (排液バック/閉鎖式排液バック)

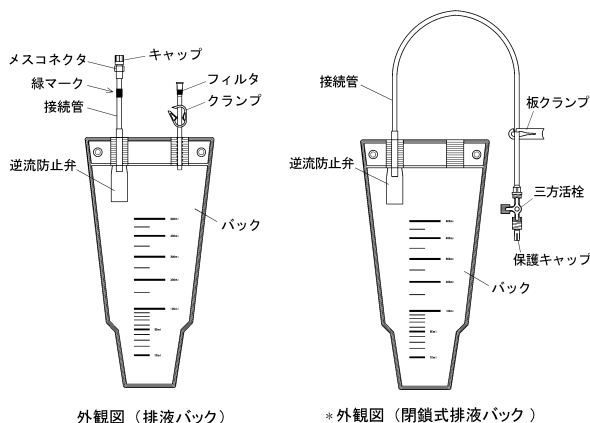
再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 使用方法
- 1) 再使用禁止

【形状、構造及び原理等】

- **1. 排液バックは、脳神経外科用のドレナージ回路を介してドレナージチューブと接続して使用する、開放式の排液バックである。逆流防止弁を具備しないタイプ(排液バック(弁なし))もある。
- **2. 閉鎖式排液バックは、脳神経外科用のドレナージチューブと直接接続して使用する、閉鎖式の排液バックである。
3. 本品は、ポリ塩化ビニル(可塑剤：フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)を使用している。



外観図(排液バック)

*外観図(閉鎖式排液バック)

【使用目的又は効果】

本品は、ドレナージチューブに接続し、血液等を除去する際の排液バックとして用いる。

【使用方法等】

1. 操作方法
本品はディスポーザブル製品であり、一回限りの使用のみで再使用できない。
 2. 一般的使用方法
- ** 〈排液バックの場合〉
- 1) メスコネクタのキャップを取り外し、破棄する。
 - 2) 本品の接続管(緑マーク)をドレナージ回路の接続管と接続する。
- ** 〈閉鎖式排液バックの場合〉
- 1) 三方活栓の保護キャップを取り外し、破棄する。
 - 2) 本品の接続管をドレナージチューブと接続する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - 1) ドレナージ中の接続管は開放状態とし、検査等で患者を移動させる際にはクランプで閉鎖状態とすること。
 - 2) ドレナージ回路又はドレナージチューブとの接続は、無菌的に操作すること。
2. 不具合・有害事象
本品の使用に際し、以下のような不具合・有害事象が生じる可能性がある。
 - 1) 重大な不具合
・ 屈曲による接続管の閉塞
 - 2) 重大な有害事象
・ 逆行性感染

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。
2. 有効期間
使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927